

# 一般入学選考 A 日本史 (2日目)

【1】 次の文章を読んで、後の問い (1 ~ 10) に答えなさい。

660年、新羅が唐と結んで百済を滅ぼした。百済の遺臣たちは百済復興のために日本にいた百済の王子の帰還と軍の派遣を求めてきた。当時の (a) は、軍の派遣を約束し、自らも九州まで赴いたが、その地で急逝してしまった。その後、軍は朝鮮半島に派遣されたが白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に大敗した。天皇の死後、称制をおこなっていた天智天皇は667年に都を (b) に移し、翌年、正式に即位して、(c) 内政に力を入れることとなった。

671年に天智天皇が亡くなると、その後継をめぐり子の (d) と弟であった大海人皇子の間で戦いが起こり、勝利した大海人皇子は天武天皇として即位することとなった。この古代最大の内乱の結果、近江方についた有力中央豪族等は失権し、強大な権力を掌握した(e) 天武天皇を中心に中央集権国家の建設がすすんだ。しかし、天武天皇は多くの事業を完成させないまま亡くなり、代わって皇后であった持統天皇が即位し、諸政策を引き継いで完成させていった。この頃の、初唐文化の影響を受けた文化を(f) 白鳳文化と呼ぶ。

持統天皇は、孫の文武天皇の成長を待って皇位を譲り、文武天皇の701年には (g) や(h) 藤原不比等らによって(i) 大宝律令が完成した。しかし、文武天皇が早くに没すると、母である(j) 元明天皇が即位し、710年、唐の都長安を模した平城京に遷都し、奈良時代が始まった。

1 空欄 (a) に該当する天皇を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 舒明天皇                      ② 齐明天皇                      ③ 欽明天皇

2 空欄 (b) に該当する宮都を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 飛鳥浄御原宮                      ② 紫香楽宮                      ③ 近江大津宮

- ③ 下線部(c)の内容に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 越後国に淳足・磐舟柵を設け、出羽国を設置した。
  - ② 庚午年籍が造籍され、永久保存とされた。
  - ③ 和同開珎が鑄造され、その使用促進のため蓄銭叙位令が出された。
- ④ 空欄 (d) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 大津皇子                      ② 高市皇子                      ③ 大友皇子
- ⑤ 下線部(e)について、彼の時代に起こった出来事に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 宮都造営担当者であった藤原種継が殺害された。
  - ② 新しい身分秩序として八色の姓が出された。
  - ③ 天皇の秘書官として蔵人頭が設置された。
- ⑥ 下線部(f)の作品に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 興福寺仏頭                      ② 螺鈿紫檀五絃琵琶                      ③ 中宮寺天寿国繡帳
- ⑦ 空欄 (g) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 早良親王                      ② 護良親王                      ③ 刑部親王
- ⑧ 下線部(h)について、その子どもに該当しない人物を、次の①～③か一つ選びなさい。
- ① 藤原宮子                      ② 藤原彰子                      ③ 藤原光明子
- ⑨ 下線部(i)の内容に該当しないものを、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 太政官と神祇官が並列し、太政官の下に八省が置かれた。
  - ② 6歳以上の全ての男子には租庸調や雑徭など重い負担が課せられた。
  - ③ 各官庁では、長官・次官・判官・主典の四等官制がとられた。
- ⑩ 下線部(j)の時代に編纂された史書に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。
- ① 『古事記』                      ② 『神皇正統記』                      ③ 『日本靈異記』

【2】 次の文章を読んで、後の問い（11～20）に答えなさい。

京では<sup>(a)</sup>醍醐天皇や村上天皇の親政が行われていた頃、地方では既に武士団が成長し、<sup>(b)</sup>関東では平将門の乱、瀬戸内では藤原純友の乱が起こっていた。武士たちの実力を目にした貴族や朝廷では、彼らを侍として奉仕させ、身辺警護や都の警備などを担当させるようになっていった。特に<sup>(c)</sup>安和の変などを通じて摂関家に接近した清和源氏の成長は著しく、各地の<sup>(d)</sup> などをつとめた。

しかし、<sup>(e)</sup>院政が始まる頃には、清和源氏は次第に勢力を衰えさせ、代わって院に接近した伊勢平氏が台頭してきた。なかでも平忠盛は<sup>(f)</sup> の信任を得て院の近臣として活躍するとともに、殿上人となり、貴族の仲間入りも果たした。

1156年に<sup>(f)</sup> が亡くなると、次の治天の君の地位をめぐって<sup>(g)</sup> と後白河天皇が争った。<sup>(h)</sup> その争いに摂関家や源氏・平氏らが巻き込まれ、京を舞台に初めて武士が争うこととなった。この争いに勝利した後白河天皇は上皇となり院政を開始したが、その下で院の近臣として勢力を蓄えた平清盛と<sup>(i)</sup> が実権をめぐって再び争い、敗れた<sup>(i)</sup> は滅ぼされ、子の源頼朝は伊豆に配流された。これに勝利した平清盛は後白河院政を武力で支えるとともに、自らも<sup>(j)</sup> に昇進し、その一族も高位高官に昇り、その勢威は並びなきものとなっていった。

11 下線部(a)について、この時代に行われた出来事に該当しないものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 荘園整理令の最初となる「延喜の荘園整理令」が出された。
- ② 八代集の最初となる『新古今和歌集』が編纂された。
- ③ 皇朝十二銭の最後となる「乾元大宝」が鑄造された。
- ④ 六国史の最後となる『日本三代実録』が編纂された。

12 下線部(b)の反乱を鎮圧した人物に該当しないものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 源 経基
- ② 藤原秀郷
- ③ 平 貞盛
- ④ 文室綿麻呂

13 下線部(c)の説明に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 藤原時平により右大臣菅原道真が大宰権帥として左遷された。
- ② 藤原良房の陰謀で大納言伴善男らが左遷された。
- ③ 藤原実頼らの陰謀で左大臣源高明が大宰権帥として左遷された。
- ④ 藤原良房により伴健岑・橘逸勢らが左遷され、恒貞親王が廃太子となった。

14 空欄 (d) に該当する語句を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 守護                      ② 受領                      ③ 遙任                      ④ 地頭

15 下線部(e)について、院政や院政を行った人物についての説明に該当しないものを、次の

- ①～④から一つ選びなさい。
- ① 白河天皇は六勝寺の1つとなる法勝寺を建立した。
- ② 上皇らの命令である院庁下文や院宣は、詔勅などを超えて優先されることもあった。
- ③ 出家した上皇は法皇と呼ばれ、熊野詣や高野詣などをしばしば行った。
- ④ 白河上皇は、僧兵の強訴などを防ぐために西面の武士を設置した。

16 空欄 (f) に該当する人物を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 白河上皇                      ② 崇徳上皇                      ③ 鳥羽上皇                      ④ 順徳上皇

17 空欄 (g) に該当する人物を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 白河上皇                      ② 崇徳上皇                      ③ 鳥羽上皇                      ④ 順徳上皇

18 下線部(h)について、この事件の名称に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 前九年の役                      ② 保元の乱                      ③ 後三年の役                      ④ 平治の乱

19 空欄 (i) に該当する人物を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 源義仲                      ② 源為朝                      ③ 源義朝                      ④ 源頼家

20 空欄 (j) に該当する官職を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 関白                      ② 征夷大将軍                      ③ 太政大臣                      ④ 鎮守府將軍

【3】 次の文章を読んで、後の問い（21～30）に答えなさい。

1600年、天下分け目と呼ばれた<sup>(a)</sup>関ヶ原の戦いで勝利した<sup>(b)</sup>徳川家康は、1603年、征夷大將軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。しかし、大坂城には未だ豊臣秀吉の遺児、豊臣秀頼がおり、名目上はその地位を継承していた。

そのため、徳川家康は権力の世襲化を全国に表明するため、1605年には將軍職を辞して、子の<sup>(c)</sup>に譲り、自らは駿府に移り、大御所として実権を握った。そして<sup>(d)</sup>の鐘銘事件を機に、1614年には大坂城を攻め、翌年、豊臣氏を滅ぼした。

幕府は、その直後に一国一城令や<sup>(e)</sup>武家諸法度を制定して、諸大名を厳しく統制するようになった。さらに、諸大名に対し、將軍名で領地宛行状を発給し、鎌倉幕府以来の「御恩と奉公」の関係を再確認させた。また、豊臣恩顧の大名に対してはさらに厳しい姿勢で臨み、安芸の<sup>(f)</sup>を武家諸法度違反で改易するなど幕府の権威を高めた。

また、朝廷に対しても1615年に<sup>(g)</sup>禁中並公家諸法度を押しつけ、<sup>(h)</sup>らに監視させ、さらに親幕派の公家からなる武家伝奏を置いて幕府の意向を朝廷に反映させた。

そして、1620年には、後の<sup>(i)</sup>を天皇に入内させ、幕府の支配をさらに強めようとした。このような幕府の強権的姿勢に後水尾天皇は反発し、<sup>(j)</sup>紫衣事件をきっかけに突然退位したため、幕府と朝廷との関係は緊張することとなった。

21 下線部(a)についての記述に該当しないものを、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 西軍は五大老の1人毛利輝元を盟主に挙兵した。
- ② 緒戦を優位にすすめていた西軍方は、小早川秀秋の裏切りがきっかけで敗れた。
- ③ 東軍方についた上杉景勝は、戦後、徳川氏から領地を安堵された。

22 下線部(b)についての記述に該当しないものを、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 幼年時代には今川氏の人質として過ごし、桶狭間の戦いには今川方として参戦した。
- ② 早くから織田信長と連携をし、長篠の戦いでは織田軍とともに武田騎馬隊を破った。
- ③ 豊臣秀吉が行った朝鮮出兵では、自ら軍を率い、平壤まで攻め上った。

23 空欄 (c) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 徳川家光                      ② 徳川綱吉                      ③ 徳川秀忠

24 空欄 (d) に該当する寺院を、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 本願寺                      ② 延暦寺                      ③ 方広寺

25 下線部(e)について、この法度を起草した人物に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 林 羅山                      ② 金地院崇伝                      ③ 絶海中津

26 空欄 (f) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 福島正則                      ② 浅野長政                      ③ 加藤清正

27 下線部(g)の史料の空欄に該当する語句を、次の①～③から一つ選びなさい。  
史料 一、天子諸芸能の事、第一御 [                      ] 也。…

① 和 歌                      ② 忠 孝                      ③ 学 問

28 空欄 (h) に該当する役職を、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 京都守護職                      ② 六波羅探題                      ③ 京都所司代

29 空欄 (i) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 建礼門院徳子                      ② 東福門院和子                      ③ 上東門院彰子

30 下線部(j)について、この事件で出羽国に流罪となった大徳寺の僧侶に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。  
① 沢庵宗彭                      ② 夢窓疎石                      ③ 隠元隆琦

【4】 次の文章を読んで、後の問い（31～40）に答えなさい。

1856年、初代総領事として下田に着任した (a) から (b) 通商条約の締結を迫られていたころ、幕府では (c) 将軍の後継ぎをめぐり、一橋派と南紀派に分かれて対立がおこっていた。この対立は、井伊直弼の大老就任により、(d) 南紀派の推す人物が将軍になることで決着した。しかし、井伊の強硬な反対派弾圧が、井伊の暗殺へと発展した。その後、老中安藤信正らにより、公武合体運動が進められたが、安藤信正は、坂下門外の変により、失脚した。このような事態の中で、薩摩藩では独自の公武合体の立場から、1862年に島津久光が (e) 勅使を奉じて江戸にくんだり、幕政改革を要求した。幕府もこれを入れ、(f) 文久の改革を実施した。

そのころ京都では、長州藩の動きが活発になり、朝廷を動かし、幕府に攘夷の決行を迫った。長州藩を中心とする尊王攘夷派の動きに対して、薩摩・会津両藩は、八月十八日の政変により尊攘派を京都から一掃した。長州藩は、勢力の回復のために、翌年 (g) 京都に攻めのぼったが敗退した。幕府はこの機に第1次長州征討を行い、長州藩に恭順の態度をとらせた。しかし、長州藩では、1864年に奇兵隊をひきいて兵をあげた (h) らの活動により、藩論を恭順から討幕へ転回させていった。幕府は再度の長州征討を諸藩に命じたが、戦況は幕府に不利に展開し戦闘は中止された。将軍となった徳川慶喜は、幕政のたて直しにつとめ、政局の主導権を握るために、1867年10月大政奉還を朝廷に願い出て受理された。しかし、同日討幕の密勅をうけていた討幕派は、12月9日に政変を決行し、(i) 王政復古の大号令を発した。

31 空欄 (a) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① ロッシュ                      ② ハリス                      ③ パークス

32 下線部(b)に関連して、通商条約の調印により、1859年から貿易が始まった港に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 兵庫                      ② 新潟                      ③ 箱館

33 下線部(c)に該当する将軍を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 徳川家茂                      ② 徳川家慶                      ③ 徳川家定

34 下線部(d)に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 徳川綱豊                      ② 徳川慶福                      ③ 徳川慶勝

35 下線部(e)に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 大原重徳                      ② 三条実美                      ③ 岩倉具視

36 (設問省略)

37 下線部(f)で徳川慶喜が就任した役職に該当するものを、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 京都守護職                      ② 将軍後見職                      ③ 政事総裁職

38 下線部(g)に該当する戦いを、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 禁門の変                      ② 生野の変                      ③ 天誅組の変

39 空欄 (h) に該当する人物を、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 桂小五郎                      ② 高杉晋作                      ③ 吉田松陰

40 下線部(i)の内容として該当しないものを、次の①～③から一つ選びなさい。

- ① 知識を外国から取り入れて国を発展させる  
② 総裁・議定・参与の三職において政治を行う  
③ 幕府だけでなく、朝廷の摂政・関白も廃止する



【5】 次の文章を読んで、後の問い（41～50）に答えなさい。

(a)日本国憲法は、形式上は(b)明治時代に制定された(c)大日本帝国憲法第73条の改正手続きにもとづき成立した。

1946年、(d)内閣の国務大臣松本烝治を委員長とする憲法問題調査委員会が草案を起草したが、国民主権・非軍事化の点で不十分だとしてGHQは拒絶し、その後政府はGHQ案にもとづく「帝国憲法改正草案要綱」を発表、多少の修正をへて日本国憲法案となった。この案が(e)枢密院、(f)帝国議会で修正可決されたのち成立し公布された。この時の内閣は(g)内閣であった。

日本国憲法が施行された(h)1947年には、(i)教育基本法・労働基準法・改正(j)民法などが公布され、(k)が廃止された。

41 下線部(a)に関する記述に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 戸主の家族員に対する支配権が否定され、男女同権の家族制度となった。
- ② 満20歳以上の成年男女に選挙権が認められた。
- ③ 内閣は国民生活に直接影響を与えるため、「国権の最高機関」とされた。
- ④ 天皇は政治的権力を持たない、「日本国民統合の象徴」とされた。

42 下線部(b)の文化に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 民友社をつくって雑誌『国民之友』を発行した三宅雪嶺や陸羯南らは、平民的欧化主義の必要性を説いた。
- ② 多くの新聞や雑誌が発行されるようになり、中でも大衆娯楽雑誌である『キング』の発行部数は100万部を超えた。
- ③ 岡倉天心を中心に日本美術院が創立され、日本画家の黒田清輝や浅井忠、青木繁らが多く日本画の大作を残した。
- ④ ロマン主義文学が盛んになり、北村透谷らが創刊した雑誌『文学界』が拠点となった。

43 下線部(c)の起草者として該当しない人物を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 伊東巳代治
- ② 島地黙雷
- ③ 井上 毅
- ④ 金子堅太郎

44 空欄 (d) ・ (g) に入る語句の組み合わせに該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① d 東久邇宮稔彦 g 第1次吉田茂      ② d 東久邇宮稔彦 g 片山 哲  
③ d 幣原喜重郎 g 第1次吉田茂      ④ d 幣原喜重郎 g 片山 哲

45 下線部(e)に関して、1888年に設置されたこの機関の初代議長は、明治時代に複数回内閣を組織している。この人物の記述に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 長州藩出身のこの人物は、初代首相となり活躍した。立憲政友会総裁となり、晩年は元老として勢力を保った。初代韓国統監もつとめたが、1909年ハルビンで暗殺された。
- ② 長州藩出身のこの人物は、討幕に活躍し、松下村塾の塾生でもあった。大村益次郎のあとをうけ徴兵令を実現させた。首相として、軍部大臣現役武官制や治安警察法を施行した。
- ③ 薩摩藩出身のこの人物は、五稜郭の戦いを指揮した。北海道開拓使長官時代の官有物払い下げ事件が問題となった。首相として大日本帝国憲法を發布した。
- ④ 薩摩藩出身のこの人物は、大蔵卿時代に紙幣整理や日本銀行設立などで財政・金融制度を整備したが、緊縮財政がデフレを招き、農民を苦しめた。首相としては、貨幣法により金本位制度を確立させた。

46 下線部(f)に関して、明治時代の初期議会の記述に該当しないものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 第一議会では「政費節減」「民力休養」を主張する民党と政府が予算案をめぐる対立し、政府は自由党の一部を買収し予算案を可決させた。
- ② 第二議会では海軍の予算案が削減されたことに対し、上原勇作海軍大臣がいわゆる蛮勇演説を行った。
- ③ 第四議会では衆議院で軍艦建造費削減が決定されたが、政府は天皇の詔勅の力もあって海軍軍備の拡張に成功した。
- ④ 第五議会では立憲改進黨などの対外硬派が、現行条約履行を政府に要求し、対外的に強硬方針を主張した。

47 下線部(h)に関して、1947年以前の出来事に該当しないものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 三井・三菱・住友など15財閥の資産の凍結・解体が命じられた。
- ② 起訴された28名のA級戦犯容疑者に対する極東国際軍事裁判が始まった。
- ③ 朝鮮戦争による特需景気がおこり、鋳工業生産が大きく伸びた。
- ④ 猛烈なインフレーションを阻止する目的で金融緊急措置令が発せられた。

48 下線部(i)に関する記述に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 六・三・三・四制の新しい教育制度が示された。
- ② 地方公共団体の首長から任命された委員からなる教育委員会が設置された。
- ③ 教科書の不適当な記述が削除され、軍国主義的な教員が追放された。
- ④ 教育の機会均等・男女共学・義務教育9年制などが規定された。

49 下線部(j)に関して、明治時代に起草した民法が、日本古来の家族制度の美風を損なうとして、民法典論争を生むことになったフランスの法学者に該当する人物を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① モッセ                      ② ボアソナード              ③ ロエスレル              ④ グナイスト

50 空欄 (k) は、1873年に設置され、地方行政・土木・警察などを担当し、大久保利通が初代長官を勤めた官庁である。この官庁名に該当するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 農商務省                      ② 通信省                      ③ 内務省                      ④ 工部省

# 【解答例】

入試年度 : 2020  
入試種別 : 一般入学選考  
A日程 2日目  
科目 : 日本史

問No.	解答番号
1	2
2	3
3	2
4	3
5	2
6	1
7	3
8	2
9	2
10	1
11	2
12	4
13	3
14	2
15	4
16	3
17	2
18	2
19	3
20	3
21	3
22	3
23	3
24	3
25	2

問No.	解答番号
26	1
27	3
28	3
29	2
30	1
31	2
32	3
33	3
34	2
35	1
36	設問省略
37	2
38	1
39	2
40	1
41	4
42	4
43	2
44	3
45	1
46	2
47	3
48	4
49	2
50	3